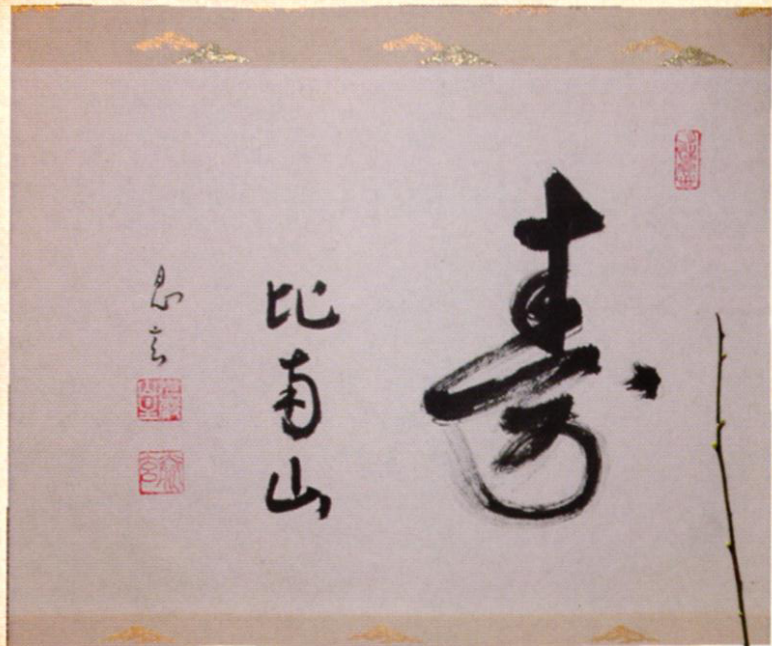




金澤北ロータリークラブ



寿比南山「じゅはなんざんにひす」

月心寺28世・勝田 浩之(泰玄)書 出典一南史(中国南朝の歴史書)

●意味 南山は、中国陝西省西安(唐の都長安)の西南にある終南山のことであって、この山自体がひとつの固い岩石でできており、いつまでも永く崩れることがないと信じられた山である。その終南山に人の寿命を比し、幾久しく健康で元気に日送りができることを願った揮毫である。

むすびやなぎ 結び柳

茶道では、正月の床の間に枝を長く垂らして入れる柳を掛け柳とも言う。柳は、陽の気を招くとされ、枝の中程で一つの輪で結ぶのは、一年間の無事と生命力の強さを象徴したものとされる。又、これは一陽来復(冬が終わって春がくると、悪から善に向かうこと)を示すと共に、新年の祝意を表したものである。

月心寺主・勝田 浩之

中国茶とワインの意外な関係

南 健一

私は2年前から当店で「中国茶教室」を開催しております。教室で話をしているうちに中国茶とワインはとても似ていて、共通な表現や味わい、料理との相性などがあることに気がつきました。

中国茶の種類は、酸化発酵の度合いによって分類されます。どれくらいの発酵度で火入れをしたかによって、緑茶、白茶、黄茶、青茶、紅茶、黒茶と分類されます。茶葉を摘んですぐに発酵を止めたものを「緑茶」と呼び、「不発酵茶」となります。逆に「紅茶」は、100%発酵する「全発酵茶」で、茶葉が真っ黒になっています。烏龍茶に代表される「青茶」は、「半発酵茶」と呼ばれますが、20%~80%と発酵度合に幅があるので、様々な種類があります。

一方、ワインは、アルコール発酵なの

で、発酵の仕方は違いますが、熟成するとワインは変化していきます。白ワインの場合は、緑色から黄色、黄金色、琥珀色と熟成期間が長くなると見えてくる色が変わってきます。赤も同様に、紫色から煉瓦色まで変化します。もちろん、香りや味わいも変化していきます。

中国茶は「発酵度合」、ワインは「熟成期間」によって色や香り、味わい、そしてお料理との相性まで共通点がでてきます。

ワインには、「テロワール」という言葉があります。ブドウが生息している土壌や気候などで同じブドウでも土地の個性がでるといことです。フランスのブルゴーニュでは、同じ品種でも数メートル変わっただけで、違うワインになります。同じように中国の福建省に武夷山で採れ



る岩茶は、岩の成分がお茶の味に反映してきます。



歴史的にいうとともに「薬」として最初は扱われ、ワインは修道院、お茶は寺院を通じて広まっています。日本へは、どちらが先に入ってきたというとお茶は748年に行基が持ち帰ったといわれています。その行基は、718年に大善寺でブドウ栽培を行なったという説もあります。

ワインは、ザビエルが信長に渡した珍陀酒がワインだったという有名な話ですが、それ以前に遣唐使船で運ばれてきており、ワインを入れた壺やそれが描かれた絵が正倉院に残っているそうです。

天武天皇が680年に建立した「薬師寺」にはブドウが描かれた台座が残っており、薬として日本に入っていたことを裏付けています。

そうするとほぼ同時期に日本に入ってきたが、宗教と文化に合ったのがお茶だったのです。ワインが普及しなかった理由

には、水の豊富さと日本酒の存在もあげられます。

また、食文化とも関わりがあり、ヨーロッパではワインと料理、中国では中国茶と料理はとても重要な意味があります。お互いを引き出す相乗効果や油分を洗い流す作用などお互い食文化に根付いています。

日本はというと食事中には、あまり飲み物を飲みません。それは新鮮な食材が手に入り、味付けも淡白だから必要ないのです。しかし、現代の日本の食文化は変化しています。食卓の上には、和食だけでなく、中華や洋食が混在しています。油分も多く、味付けもメリハリはあります。そうすると、飲み物なしでは食せません。そこで、ワインや中国茶が食卓に必要なようになってきます。それは、日本人として、少し複雑な気持ちです。



第1571回例会

2月23日(木) 晴れ 18:30~20:30 松魚亭

1. 点 鐘

- ①ロータリーソング「それでこそロータリー」
- ②会長挨拶 高島会長
- ③ニコニコボックス披露 (例会委員会)
ゲスト 中華ダイニング「煌」支配人
南健一氏 「中国茶とワインの意外な関係」
- ④乾 杯 高島会長
- ⑤飲 談
- ⑥閉会の挨拶 米澤真二会長エレクト
- ⑦ロータリーソング「手に手つないで」

点 鐘

2. 出 欠

出席 27名 欠席 40名

出席率 40.29% ご夫人 9名

ニコニコボックス

高島君、勝田君

「煌」支配人、南健一氏をお迎えして。本日は
宜しくお願い致します。

川面君 講師に、南健一氏をお迎えして。

合計 3,000円 (累計 415,000円)

25日 島 善昭

29日 汐井俊彦

30日 深山 彬

6. ご結婚記念日祝い (敬称略)

4日 滝 憲三

6日 小間井宏尚、松田忠秋

7日 上田忠信

9日 堀本修平

11日 米澤真二、大澤久廣

12日 川口喜樹

22日 玉田善明

27日 磯野進吾

28日 馬場 貢

29日 佃 一成

30日 島 善昭

31日 卯野正博

ニコニコボックス

高島君、勝田君

中西先生、本日も講話宜しくお願い致します。

乙村君 入会させて頂き、23年過ぎたようです。

吉井君 この度、三年生になりました。これからも宜しく
お願い致します。

中田(秀)君 誕生日に美しいお花を、有難うございました。

中村(芳)君 誕生日に、お花を頂き、有難うございます。

馬場君 お誕生日のお祝いのお花をありがとうございます。

山上君 誕生日のお花ありがとうございます。ちなみに
今年誕生日は来ませんでした。(2月29日
生まれ)

米澤(真)君 結婚記念月を迎えました。

小間井君 結婚して何年経ったか忘れましたが、益々夫
婦円満です。

大澤君 結婚記念月です。

合計 20,000円 (累計 435,000円)

第1572回例会

3月2日(木) 12:30~13:30 松魚亭

1. 講 話

真味の会 講師 中西静子氏

「病の80%は誤った食生活が原因⑤」

2. 出 欠

出席 41名 欠席 26名

出席率 61.19% ビジター 9名

3. 来訪者 (敬称略)

金 沢RC 蚊谷八郎

金沢東RC 卯野信彦 三谷康人 二木克明

金沢南RC 新保弾次

金沢西RC 新谷鎮夫 辻 卓 川口征弘

坂井美紀夫

4. 皆出席顕彰 (敬称略)

23カ年 乙村舜吉

3カ年 吉井 清

5. お誕生日祝い (敬称略)

1日 馬場 貢

2日 中村芳明

4日 横井清治

5日 滝川真人

8日 中田龍一

11日 勝田浩之

2月クラブ日誌

9日(木) 2月定例理事会 松魚亭にて

12日(日) 都市連合会 ホテル日航金沢にて

23日(木) 夜間例会 松魚亭にて

講 話 予 定

3月16日(木)

会員 佐賀 務君

3月30日(木)

会員 佃 一成君



会 長: 高島 菊丸 S A A : 吉井 清

会長エレクト: 米澤 真二 会 計: 濱井 弘利

副 会 長: 小間井宏尚 広報委員長: 中村 芳明

幹 事: 勝田 浩之 会 員 数: 68名

副 幹 事: 松田 忠秋 クラブ設立: 昭和48年10月3日

例 会 日: 木曜日 12:30~13:30

例 会 場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30

TEL<076>252-2271 FAX252-2273

事 務 局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内

TEL<076>222-2525 FAX224-2882

E-mail:k-kitarc@aqua.hokuriku.ne.jp



この会報は再生紙を利用しています。